



令和6年度補正 DR家庭用蓄電池

写真撮影手順・注意事項のご説明

2025年5月31日 初版

写真撮影に関する注意事項

- 蓄電システム**パッケージ型番の範囲を構成する機器**、**IoT関連機器**は全て撮影してください。
- 設備・機器は**設置後に必ず型番等がわかる銘板写真を撮影**してください。設置後の撮影が難しい場合は設置直前に撮影をしてください。
- 設備・機器を撮影する際はカバー等はかけず、設備・機器が明確に確認できる状態で撮影してください。集電箱内に設置する場合、蓋を開けて機器が見える状態で撮影してください。
- トリミング、リサイズを除き写真の加工は一切しないでください。（**写真アプリ等の使用は不可**）
- 撮影の際は、ホワイトボード等を使用し、必ず**補助事業者名、交付決定通知書番号、撮影日**を記載し、**鮮明に写し込んでください**。
- ホワイトボード等と設備・機器と一緒に撮影することが困難な場合、**背景に機器を写し、ボード等が鮮明に写るように1カット撮影し、設備・機器が鮮明に写るように1カット撮影**して、2枚一組で写真を提出してください。

写真撮影のタイミング

工事前	必須	<ul style="list-style-type: none">• 設備・機器の設置箇所について、写真を撮影します。• 撮影を忘れた場合、後から撮影は不可能のため、必ず忘れずに撮影してください。
工事中	必要に応じて	<ul style="list-style-type: none">• 工事終了後や現地調査等で確認が困難な設備・機器については、工事中の写真を撮影してください。• 設置箇所の近景と遠景（周辺の状況が確認できる程度）の両方を撮影してください。• 工事終了後や現地調査等で確認が可能な場合は撮影をしなくても問題ありません。
工事後	必須	<ul style="list-style-type: none">• 全ての設備・機器について、写真を撮影してください。• 設置箇所の近景と遠景（周辺の状況が確認できる程度）の両方を撮影してください。



写真撮影の手順と注意事項

- ① ホワイトボードの準備
- ② 蓄電システム設備・機器の撮影 (工事前・工事後)
- ③ 室内表示装置等設備の撮影 (工事前・工事後)
- ④ IoT (HEMS) 機器の撮影 (工事前・工事後)
- ⑤ 機器銘板の撮影



ホワイトボードの準備

「ホワイトボード・写真台紙」は
SIIポータルサイトよりダウンロード可能

① 補助事業者名	【記入例】 環境 太郎
② 設置写真	工事前 ・ 工事中 ○ 工事後
③ 交付決定通知書番号	SII-BVFXXX-XX-000000200000-A
撮影日	20XX 年 XX 月 XX 日

- 補助事業者名（お客様名）を記載してください
- 個人の場合は個人名、法人の場合は法人名を記載してください
※販売店（代行申請者）の名称ではありません。

- 工事前、工事中、工事後いずれの写真なのかを記載してください
- もしくは○を付けてください
※工事前写真、工事中写真の撮影漏れがないようご注意ください

交付決定通知書番号

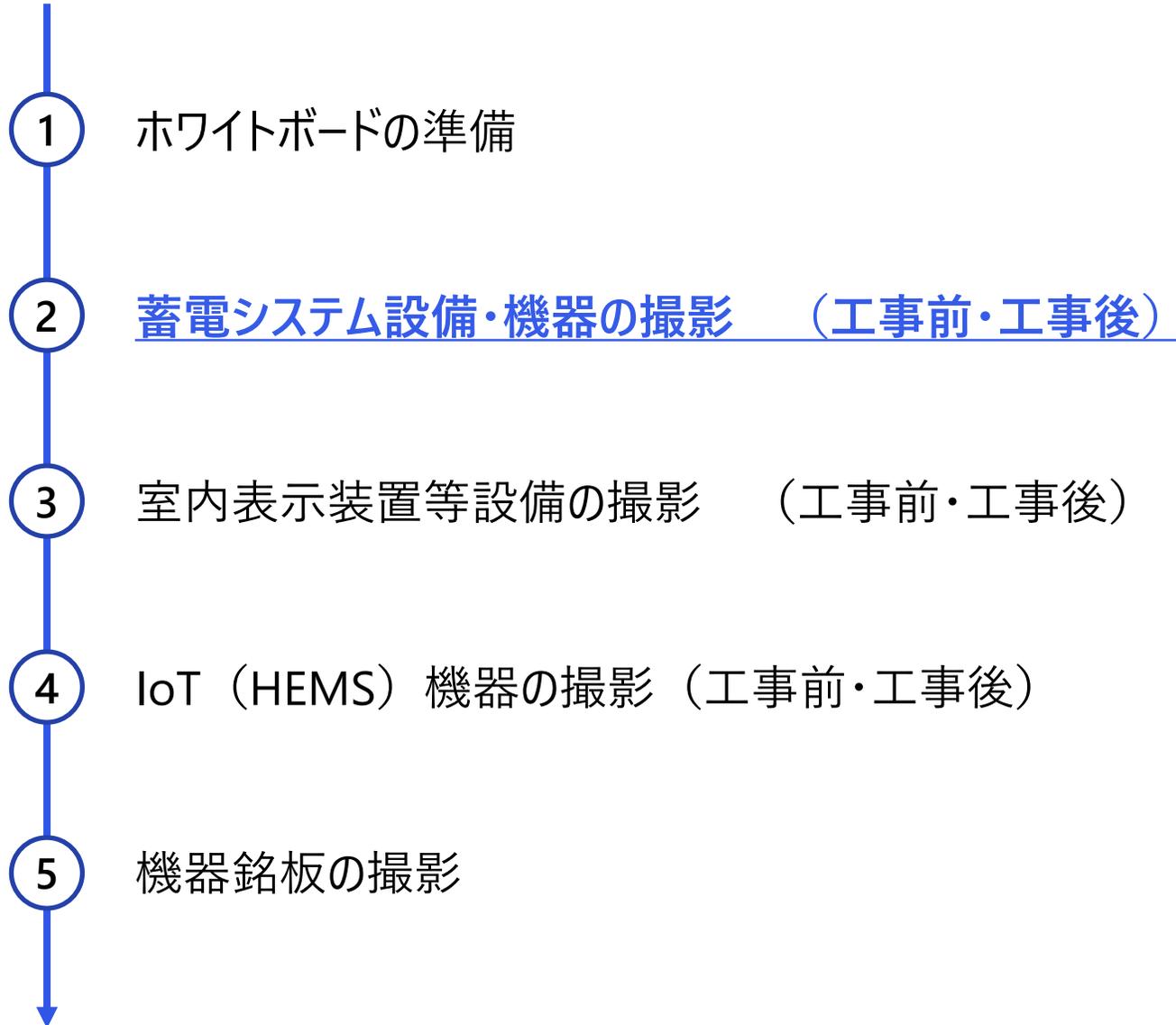
- ポータルを参照し、ハイフンや文字の記載漏れがないか、必ず確認した後に撮影してください

管理情報	
申請書番号	BVF-XXX-XX-00000010000
交付決定通知書番号	SII-BVFXXX-XX-000000200000-A
承認ステータス	交付決定

- 撮影日を記入してください

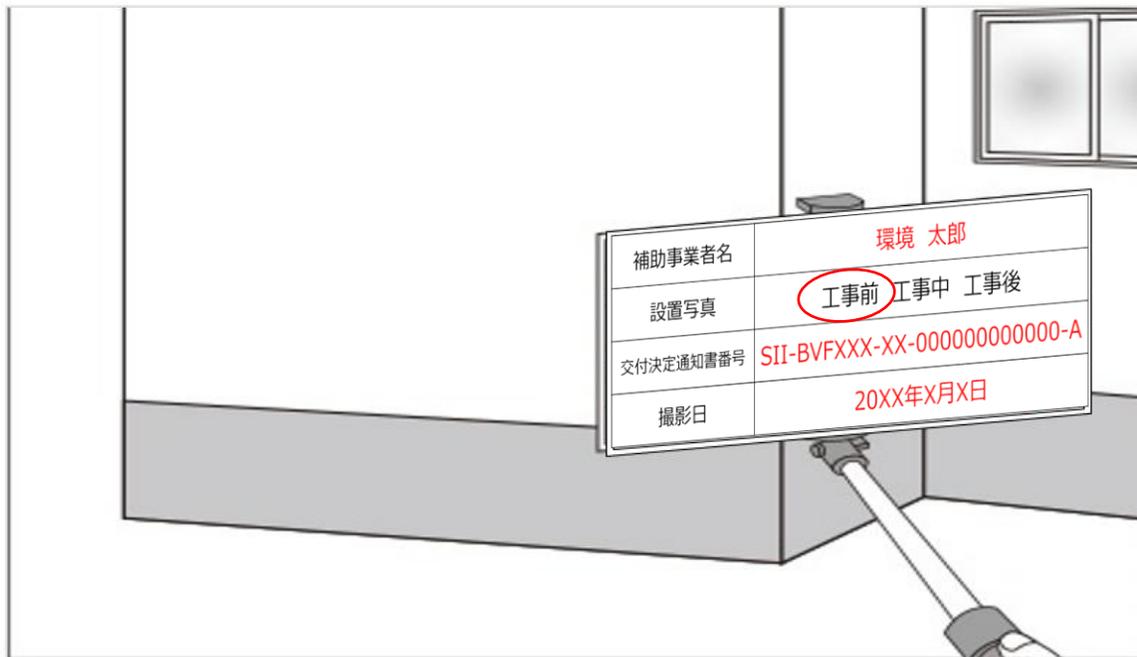


写真撮影の手順と注意事項



工事前**蓄電システム設備・機器の撮影**

撮影イメージ

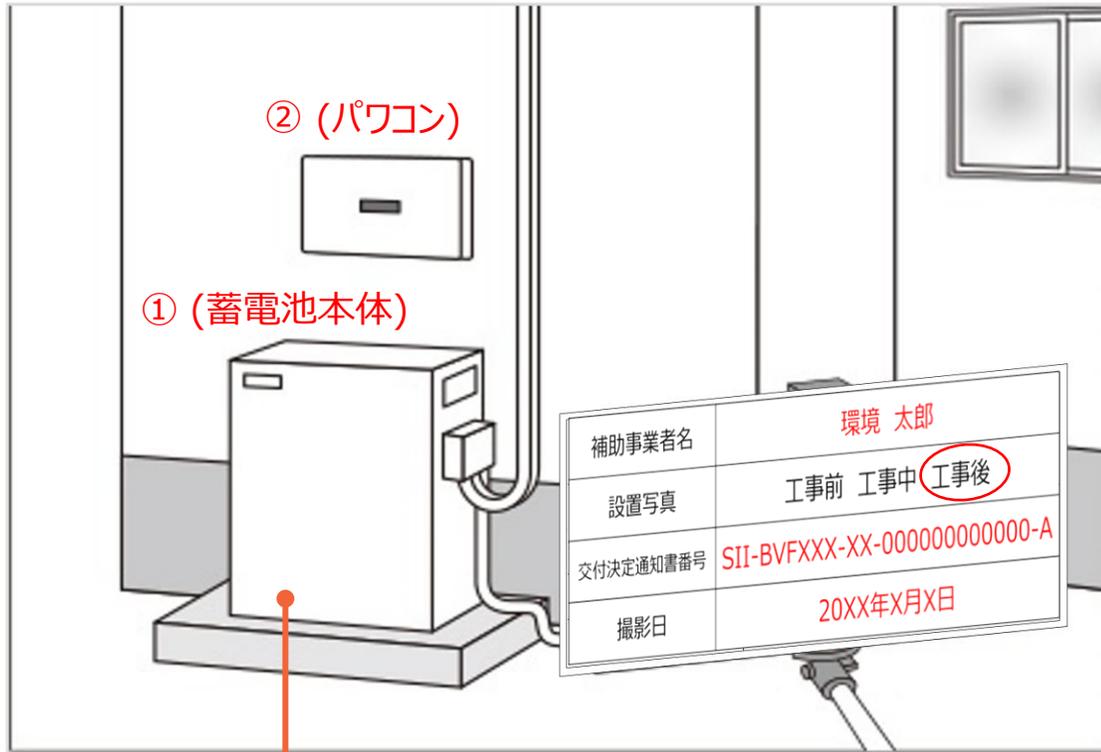


- 工事前写真は撮影を忘れると、工事後の撮影は不可能のため、必ず忘れずに撮影してください
- ホワイトボードの文字が鮮明に写るように撮影してください。

工事後

蓄電システム設備・機器の撮影

撮影イメージ



- ・扉を閉めた状態で撮影してください
- ・カバー等は掛けていない状態で撮影してください

- 蓄電システムを構成する機器を全て撮影してください。
パッケージ型番に含まれる機器すべてが対象となります。
- 設置箇所の近景と遠景（周辺の様子が確認できる程度）の両方を撮影してください。
- ホワイトボードの文字が鮮明に写るように撮影してください。

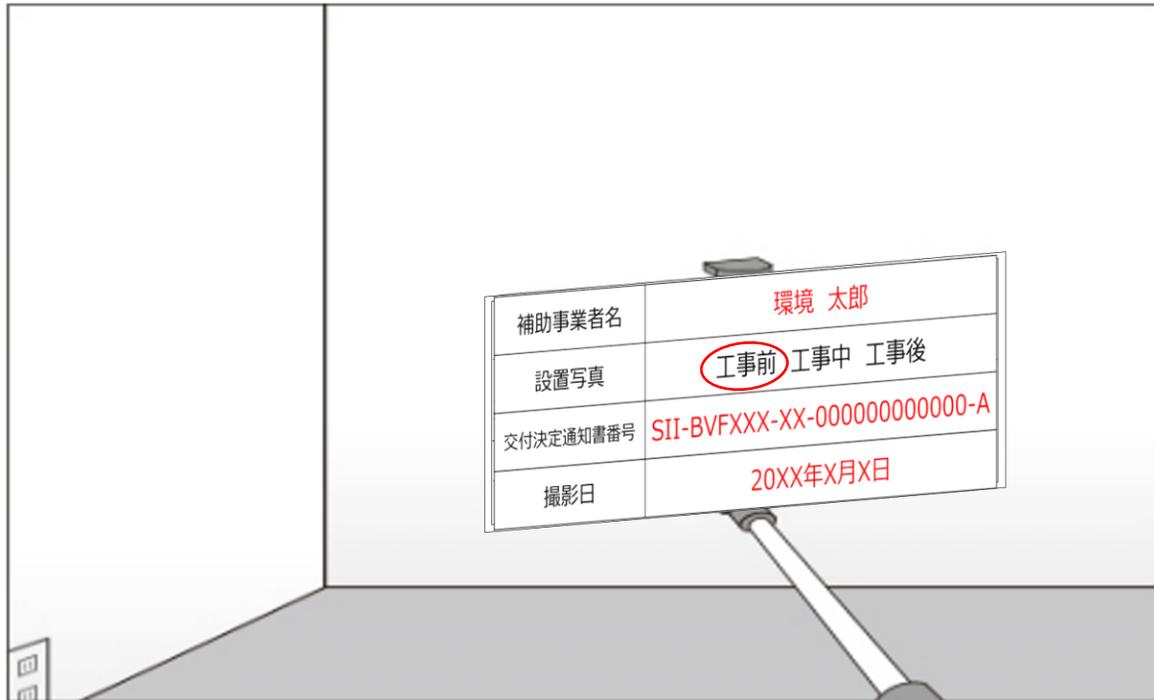


写真撮影の手順と注意事項

- ① ホワイトボードの準備
- ② 蓄電システム設備・機器の撮影（工事前・工事後）
- ③ 室内表示装置等設備の撮影（工事前・工事後）
- ④ IoT（HEMS）機器の撮影（工事前・工事後）
- ⑤ 機器銘板の撮影

工事前**室内表示装置等設備の撮影**

撮影イメージ



- パッケージ型番に**室内表示装置等が含まれる場合**、撮影が必須となります。
- 工事前写真は撮影を忘れると、工事後の撮影は不可能のため、必ず忘れずに撮影してください
- ホワイトボードの文字が鮮明に写るように撮影してください。

工事後

室内表示装置等設備の撮影

撮影イメージ

・通電し、画面が表示されている状態で撮影してください



③ (表示装置)

補助事業者名	環境 太郎
設置写真	工事前 工事中 工事後
交付決定通知書番号	SII-BVFXXX-XX-000000000000-A
撮影日	20XX年X月X日

- パッケージ型番に**室内表示装置等が含まれる場合**、撮影が必須となります。
- 設置箇所の**近景と遠景**（周辺の様子が確認できる程度）の**両方**を撮影してください。
- ホワイトボードの文字が鮮明に写るように撮影してください。
- 表示装置等は**通電し、画面が表示されている状態**で撮影してください。



写真撮影の手順と注意事項

- ① ホワイトボードの準備
- ② 蓄電システム設備・機器の撮影 (工事前・工事後)
- ③ 室内表示装置等設備の撮影 (工事前・工事後)
- ④ IoT (HEMS) 機器の撮影 (工事前・工事後)
- ⑤ 機器銘板の撮影



工事前

IoT (HEMS) 機器の撮影

撮影イメージ



- 工事前写真は撮影を忘れると、工事後の撮影は不可能のため、必ず忘れずに撮影してください
- ホワイトボードの文字が鮮明に写るように撮影してください。

工事後

IoT（HEMS）機器の撮影

撮影イメージ【Cube Jを利用する場合】



- IoT（HEMS）機器とアプリが写るように撮影してください。
- IoT（HEMS）機器は**通電し、LEDランプが点灯**している状態で撮影してください。
- **アプリ画面には各機器の情報が表示され、オンライン状態で**撮影してください。
- 設置箇所の**近景と遠景（周辺の状況が確認できる程度）の両方**を撮影してください。
- ホワイトボードの文字が鮮明に写るように撮影してください。

【注意事項】スマホアプリの表示状態

- アプリ画面には各機器の情報が表示され、オンライン状態で撮影してください。



Check 1

横長のカードが表示されている。

Check 2

各設備のデバイスカードが表示されている

必須

機器構成によって表示されるものが異なります

蓄電池



Bルート



分電盤



太陽光



マルチ入力PCS



Check 1

Check 2

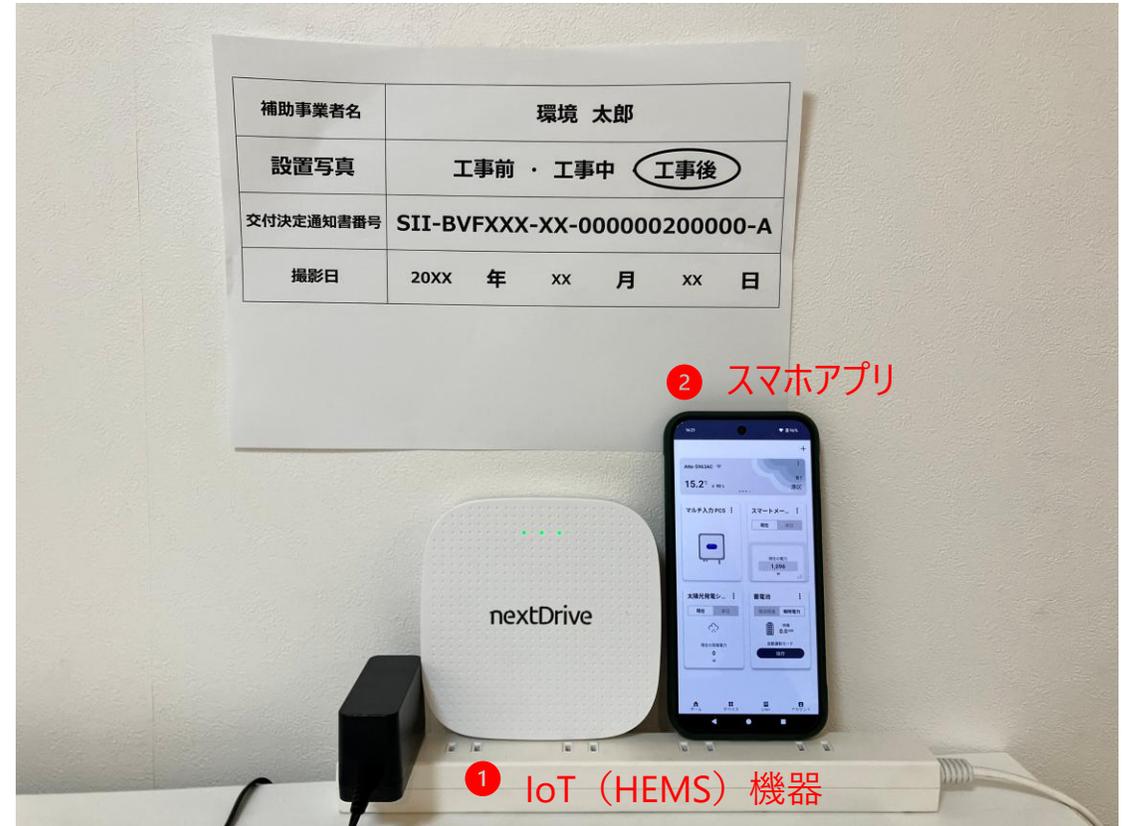
の確認ができている状態で
写真撮影してください。

工事後 IoT (HEMS) 機器の撮影

撮影イメージ【EDGEを利用する場合】



撮影イメージ【Attoを利用する場合】





写真撮影の手順と注意事項

- ① ホワイトボードの準備
- ② 蓄電システム設備・機器の撮影 (工事前・工事後)
- ③ 室内表示装置等設備の撮影 (工事前・工事後)
- ④ IoT (HEMS) 機器の撮影 (工事前・工事後)
- ⑤ 機器銘板の撮影

設備銘板の撮影

- 設備・機器は**設置後に必ず型番等がわかる銘板写真を撮影**してください。設置後の撮影が難しい場合は設置直前に撮影をしてください。

蓄電システムを構成する機器

- ◆ パッケージ型番の銘板がある場合は、パッケージ型番の銘板を撮影

ABC株式会社 家庭用蓄電池システム

パッケージ型番：package-DER-01

蓄電容量：000kWh

製造番号：123456789

- ◆ パッケージ型番の銘板がない場合は、**パッケージの構成機器すべての銘板**を撮影

ABC株式会社

名称：パワーコンディショナー

型番：power-DER-01

定格電圧：000V

定格出力：000kW

製造番号：111222112

ABC株式会社

名称：蓄電池ユニット

型番：chikuden-DER-01

蓄電容量：000kWh

定格電圧：000V

製造番号：987654321

※その他、パッケージに含まれるすべての機器（例えば、「表示装置」等）の銘板も必要

IoT (HEMS) 機器

本体裏面の

①**製品番号**

②**型式 (Model) 記載の銘板**
が鮮明に写るように撮影してください。

【Cube J】



①製品番号と②型式を必ず鮮明に撮影してください。また、Cube J機器の全体が写るようにお願いします。

【EDGE】



①製品番号と②型式を必ず鮮明に撮影してください。また、EDGE機器の全体が写るようにお願いします。

【Atto】



①製品番号と②型式を必ず鮮明に撮影してください。また、Atto機器の全体が写るようにお願いします。



実績報告用書類の作成

- 現地で撮影した写真を利用して、実績報告を作成します。
- SIIポータルサイトよりダウンロード可能な「ホワイトボード・写真台紙」を利用して、実績報告書類を作成してください。
- 作成の手順は、SIIの「事業実施の手引き」ならびに弊社より展開する「実績報告手続きのご説明」をご確認ください。



NextDrive株式会社 DR事務局

情報発信サイト | R6補正 DR家庭用蓄電池



<https://r6-siidr.scrollhelp.site/rd1/>